



## ご利用案内

### 開館時間

午前9時～午後5時  
(入館受付は午後4時30分まで)

### 休館日

毎週月曜日 (祝日は開館)  
祝日翌日 (土日曜の時は開館)  
※いずれも開館の場合、後の平日に振替休日  
年末年始 (12月27日～翌1月5日)

### 入館料

大人 300円 (250円)  
小人 150円 (130円)  
※( )内は20名以上の団体料金

※長浜市内・米原市内の  
小中学校の児童生徒は入館無料です。

### ●ご利用にあたって●

※館内での展示物の写真撮影や飲食はご遠慮ください。  
※館内は禁煙です。

## 交通案内



### お車の場合

◎JR長浜駅から車で約20分  
◎北陸自動車道・長浜ICから約10分  
◎小谷城SICから約10分

### 電車・バスの場合

◎JR長浜駅下車⇒湖国バス浅井線  
浅井支所前下車、乗り換え⇒湖国バス高山線  
浅井三姉妹の郷前下車徒歩約10分

## 浅井歴史民俗資料館

〒526-0251 滋賀県長浜市大依町528番地

TEL/FAX 0749-74-0101

E-mail rekimin@city.nagahama.lg.jp

<http://www.city.nagahama.shiga.jp/section/azairekimin/index.html>

郷土学習館

七りん館

糸姫の館

鍛冶部屋

# 浅井歴史民俗資料館

戦国大名浅井三代と民具の里

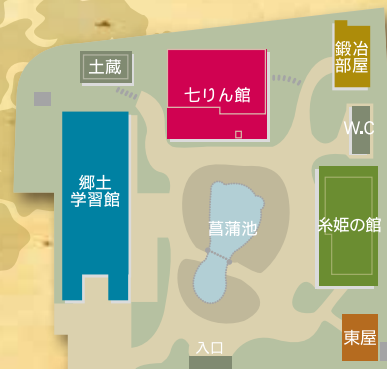


# 戦国大名浅井三代と民具の里

あざい

AZAI HISTORY AND POLKLORE MUSEUM

戦国大名浅井三代の歴史を、ゆかりのある武具や資料、人形ジオラマなどで分かり易く展示している郷土学習館のほか、江戸時代後期から明治時代における浅井の庄屋・養蚕農家・鍛冶屋などを再現しています。そして浅井の伝統的なくらしや道具、もの作りの技を保存継承し、展示や体験をとおして歴史や文化を学ぶことを目的とする資料館です。



## 郷土学習館

1F  
展示室



1F展示室「浅井三代の間」

1階は浅井氏三代にわたる盛衰記をパネルで紹介するほか、姉川合戦の経緯について「姉川合戦絵巻物シアター」を配置し、迫力ある戦国時代の雰囲気を実現しています。2階では江誕生から小谷落城までを、臨場感あふれるジオラマで紹介するほか、その後の市と三姉妹の生涯について系譜でたどります。



太刀 銘長光(伝浅井長政奉納)



刃 銘備州長船祐定(伝浅井長政奉納)

2F  
展示室



「三女・江の誕生」

天正元年(1573)、小谷城の山上大広間で、北近江の戦国大名・浅井長政(29歳)と織田信長の妹・市(27歳)、長男の万福丸(10歳)、茶々(5歳)・初(4歳)・江(この年に誕生)の三姉妹が囲らんしている場面を再現しました。



「小谷落城と脱出」

天正元年(1573)9月1日、小谷城は、木下秀吉を先鋒とする織田信長軍に攻撃されて落城。落城に際し、浅井長政のもとから市と三姉妹が脱出。父を戦乱で亡くした三姉妹の波乱の人生が幕開けとなります。小谷城の脇門として伝来した実物の城門を移して展示しています。



「昌安見久尼と三姉妹」

小谷落城後、市と三姉妹は、浅井長政の姉・昌安見久尼が住職であった実宰庵にかくまわれたとされています。見久尼は大柄な女性で、信長軍による残党狩りの際、とっさにみずからの法衣の袖に三姉妹を隠し、追手から守ったと伝えられています。

## 鍛冶部屋



鍛冶場作業(ジオラマ復元)

戦国時代は「草野槍」で活躍した草野鍛冶。

土間には、ふいごや火床、金床、鉋などの鍛冶道具を置き鍛冶場を再現し、草野鍛冶の特徴や道具の仕組みについても説明しています。鉋や鋤などの製品も展示しています。

## 糸姫の館



糸とり作業(ジオラマ復元)

浅井地域は養蚕と良質の座繰生糸の産地として広く知られ、主に邦楽器原糸として使用されました。その歴史や仕事振りを、ビデオ上映や古くから受け継がれてきた機具や資料により、詳しく紹介しています。



## 七りん館

江戸後期(1804年)に建てられた長浜市鍛冶屋町の当時庄屋であった草野家を移築再現しています。葺きに入母屋造になっており、広さは105㎡です。間取りは座敷を中心に寝間、台所、土間が配されています。ここでは、民具が生活のまま展示しており、見学の他、むかしのくらし体験学習を行う場としても利用されています。



七りん館(民俗資料館全景)



内部展示